

# 目 次

I. 調査の概要	P 1
1. 調査の目的	P 2
2. 調査方法	P 2
3. 回収結果	P 2
4. 報告書の見方	P 2
II. 調査結果	P 3
1. 回答者の属性 (1)性別 (2)年齢 (3)職業	P 4
2. 人権意識	P 6
(1)生まれや職業	P 6
(2)不合理な偏見や因習	P 7
(3)関心のある人権問題	P 8
(4)人権侵害経験の有無	P 10
(5)受けた人権侵害の内容	P 11
(6)人権侵害を受けた際の対応	P 13
3. 個人人権課題	P 15
(1)女性の人権	P 15
(2)子どもの人権	P 17
(3)高齢者の人権	P 19
(4)障がい者の人権	P 21
(5)部落差別等の同和問題	P 23
(6)外国人の人権	P 34
(7)HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	P 36
(8)刑を終えて出所した人の人権	P 39
(9)犯罪被害者等の人権	P 40
(10)情報通信技術(インターネット)を使った人権侵害	P 42
(11)北朝鮮当局による拉致問題等	P 44
(12)性的少数者(セクシャルマイノリティ)	P 46
(13)東日本大震災に起因する人権問題	P 48
4. 人権擁護委員制度	P 49
(1)人権擁護委員の認知	P 49
(2)人権擁護委員の活動についての認知	P 50
5. 今後の人権教育・啓発のあり方	P 52
(1)人権尊重社会を実現するために必要な取組	P 52
参考資料	P 54
各設問における年齢別クロス集計表	P 54
調査票	P 66